

力あわせ 未来ひらく。

7月
参院選

共産党の改革プラン

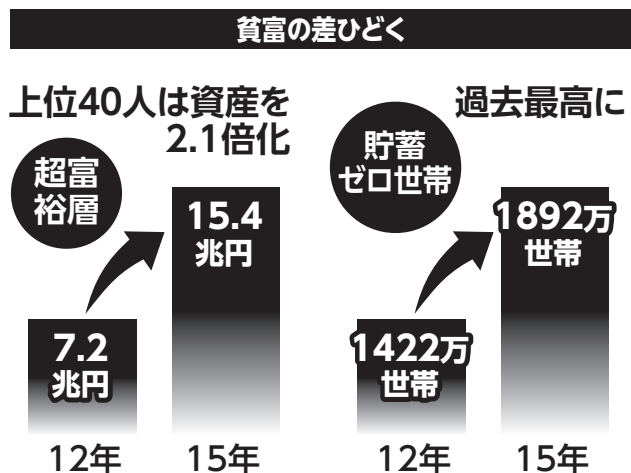
3つのチェンジ

安倍政権の3年間で暮らしも経済も深刻な状況です。日本共産党は「3つの改革」を掲げて安倍暴走政治にピリオドを打ち、政治の転換をはかります。

チェンジ1

消費税10%中止 増税は大企業、富裕層に

税金の集め方



所得の低い人に重くのしかかる消費税。8%増税は内需を冷やし、景気を破壊。「消費は予想以上の落ち込み」と首相も失政を認めました。もう10%への増税はキッパリ中止するべきです。

「税金は負担能力に応じて」—増税するなら、アベノミクスで大もうけした富裕層と大企業からです。4兆円の減税バラマキを中止し、株取引など富裕層への課税を強化すべきです。

チェンジ2

社会保障を 最優先に

税金の使い方

法人税減税4兆円、軍事予算5兆円あれば…

- 認可保育所30万人分
5000億円程度
- 大学授業料半減
毎年1100億円程度(10年後1.1兆円)
- 給付奨学金
年間2500億円程度
- 子ども医療費無料化
年間2400億円(就学前まで)

社会保障の削減路線をやめて、年金削減の中止、医療費や介護保険の負担軽減、介護労働者の待遇改善をはかります。

保育所の待機児は、国の財政支援で緊急に30万人分の認可保育所を建設。保育士の賃金を引き上げます。

大学学費は10年で国公立も私学も半減。月額3万円の給付奨学金(現行受給者の半分・70万人)をつくります。

海外で戦争するための大軍拡をやめて暮らしに回させます。

チェンジ3

最低賃金上げ ブラック企業なくす

働き方

派遣法の抜本改正、「同一労働同一賃金」の法制化で、非正規から正社員化への流れを。中小企業への支援を強め、最低賃金を「今すぐ、どこでも時給1000円」に引き上げ、さらに1500円へ。

残業時間は「年360時間が上限」と法律に明記、過労死まで生む異常な長時間労働をなくします。ブラック企業を根絶。

アベノミクス3つの破たん

① トリクルダウンは妄想

大企業は過去最高益を更新し、内部留保は300兆円を突破、しかし実質賃金は4年連続で減少。大企業はもうかっても家計にトリクルダウン(したたり落ちる)ことはありません。

② 消費税8% 家計どん底

8%増税について日本共産党は「景気悪化への引き金を引く」と中止を求めたのに、安倍首相は「影響は一時的」と強行。増税から2年たっても家計消費は落ち込んだままです。

③ 異次元金融緩和で拍車

急激な円安と株高で富裕層や大企業は大もうけ。国民には生活必需品や資材の値上げ。異常な「マイナス金利」に踏み出したものの円高、株価下落が進み、金融政策は打つ手なし。